

— 5本の柱 —

安心して住める町に

いのちを大切にし、すこやかな
毎日をおくります。

わたくしたちが、幸せでありたいという願いは、まず、健康であることを大前提として、人間尊重を基本とする社会のなかですべての社会的な活動が営まれることによって、大きくかなえられていくものです。

「健康がなければすべてがない」といわれるよう、健康なくして幸福を考えることはできません。心身の健康は、一度きりの人生を力いっぱい生きるための基礎的な要件であり、わたくしたちの幸福の源であります。

いのちを大切にすることは、取りも直さず、自他の生命を尊重し、精神的な健康に留意し、そして若人のたくましさをはぐくみつつ、健康なまちづくりにつとめることにほかなりません。

また、すこやかな毎日をおくるためには、かけがえのない生命の安全を最優先にするとともに、お互いに相手の人格を平等に認め合い、人間として幸せに生きるために、協調の精神を高めていく積極的な姿勢がなくてはなりません。

ここに、基本的人権が、人を尊ぶ権利として保障されるゆえんです。また、お互いに正しく主張することによって、なごやかな毎日をおくり、あたたかい人情味豊かな安心して住めるまちづくりに努めることが必要です。

実践上の具体例

- 歩く、走る、スポーツをするなど自分にあった方法で健康を保ちましょう。
- 早寝、早起を実行し、充実した毎日を過ごしましょう。
- 規則正しく、ゆとりある生活態度を身につけましょう。
- 清潔を保ち、健康管理につとめましょう。
- 交通ルールを正しく守り、交通安全に努めましょう。
- すすんで市民献血に協力し、自分の健康管理や社会に役立てましょう。

